HARD

2014年9月9日(第3版)

見える喜びを大切にしたい Aime

アイミーアスフェリックUV・エア
医療機器承認番号20400BZZ00342A09
アイミーサプリーム
医療機器承認番号20400BZZ00342000
アイミーサプリーム・バイトーリック
医療機器承認番号20400BZZ00342000
アイミーサプリーム・フロントトーリック
医療機器承認番号20400BZZ00342000
アイミークリアライフ
医療機器承認番号21700BZZ00168000
アイミークリアライフ・プルミエ
医療機器承認番号21700BZZ00168000

アイミー
酸素透過性ハードコンタクトレンズ
取扱説明書【終日装用】

アイミー
酸素透過性ハードコンタクトレンズ取扱説明書【終日装用】

特にご注意いただきたいこと

レンズは眼に直接のせて使用するため、レンズの取扱方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながることがあります。また、治療せずにそれを放置すると失明してしまうこともあります。
レンズを安全に使用するために、製品に付属する添付文書ならびにこの取扱説明書をよく読み、眼科医の指示に従い正しい取扱方法を守ってください。

1 | 装用時間を正しく守ること

装用時間には個人差があります。眼科医から指示された時間内で使用し、眠るときは必ずはずしてください。

2 | 取扱方法を守り正しく使用すること

レンズやケア用品の取扱方法を誤ると眼障害につながることがあります。
レンズやケア用品(特にレンズ保存ケース)は常に清潔に保ち、正しい取扱方法を守ってください。

3 | 定期検査は必ず受けること

自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。
異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

4 | 少しでも異常を感じたら眼科医の検査を受けること

レンズをつける前に、毎日、ご自分で眼ヤニや充血がないか、またレンズをつけた後も、異物感などがないか確認し、
少しでもこれらの異常を感じたら、すぐに眼科医の検査を受けてください。

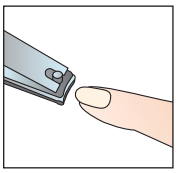
一般社団法人 日本コンタクトレンズ協会

使用方法

【レンズをつける前に】

① 爪はいつも短く切ってください。

眼に傷やレンズにキズをつけないように爪はいつも短く切ってなめらかにしてください。



② 手指は清潔にしてください。

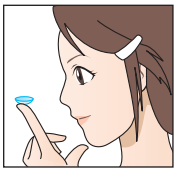
レンズにふれる前には、手は石けんでよく洗い、水道水でよくすすいでください。

③ 装用前にレンズの左右を確認してください。

レンズの左右を入れ違えると、異物感、目が疲れる、見えにくいなどの症状の原因になります。左右を間違えないようにいつも同じ側(右または左)のレンズから取り扱ってください。

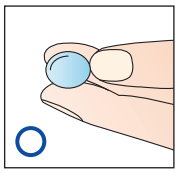
④ レンズに汚れやキズがないことを確認してください。

汚れなどがついている場合は、指定されたケア用品によるこすり洗いを行ってください。洗浄しても汚れが落ちない場合やキズがついている場合は、レンズを装用せずに眼科医に相談してください。

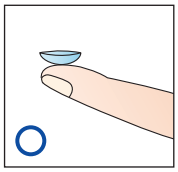


【レンズの持ち方】

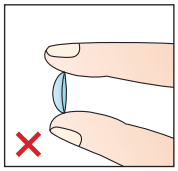
レンズを持つ時は、親指、人さし指、中指でかるく包むように持ってください。



レンズをつける時は、凹面を上にして人さし指の先端にのせてください。

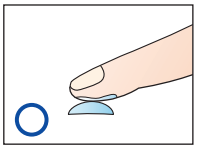


注意 ●強くつまんだり、レンズを立てて持つと破損したり、変形する場合があります。

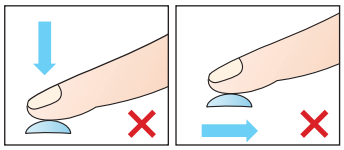


【レンズを落とした時】

落としたレンズを拾う時は、人さし指の先を水でぬらし、かるくレンズに触れ、真上に持ち上げるように拾い上げてください。

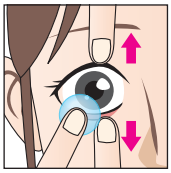


注意 ●強くレンズを押しつけたり、引きずったりすると、キズがついたり、破損、変形する場合があります。

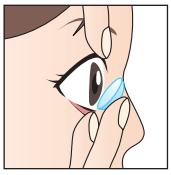


【レンズのつけ方】

STEP 1 レンズをきき手の人さし指の先端にのせ、同じ手の中指で下まぶたを下げてください。もう一方の手の中指(または人さし指)で上のまぶたを持ち上げ、眼を大きくあけてください。

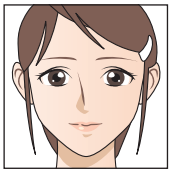


STEP 2 鏡を見ながらレンズをゆっくり近づけ、角膜(くろめ)の上にそっとのせてください。



STEP 3 レンズが正しく角膜(くろめ)の上にのったことを確認し、下まぶたを押さえていた指から順番に離し、まばたきをゆっくりしてください。

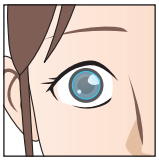
STEP 4 鏡を見て、レンズが角膜(くろめ)の上にのっているかを確認します。また、左右の見え方も確認します。



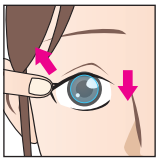
注意 ●レンズをつけた後、見え方がぼやけていたり、異物感などがある場合は、一度レンズをはずし、汚れの有無やレンズの左右が間違っていないか確認し、再度つけ直してください。それでも直らない場合は、レンズの装用を中止して眼科医に相談してください。

【レンズのはずし方①】

STEP 1 鏡の前でできるだけ大きく眼をあけて、レンズの位置を確かめてください。



STEP 2 人さし指で目尻を押さえ、レンズより眼を大きくあいたまま水平より上向きに引っ張って、まばたきをするとレンズがはずれます。

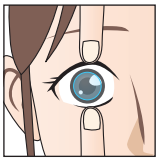


STEP 3 目尻を押さえていない方の手のひらでレンズを受けとめてください。

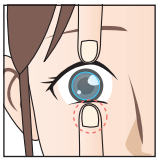
注意 ●一度ではずれない時は、いったん指を離し、最初からやり直してください。

【レンズのはずし方②】

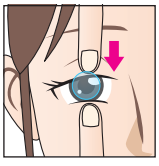
STEP 1 鏡を見ながら両手の人さし指を上下のまぶたのまつ毛のはえぎわにおいてください。



STEP 2 下側の人さし指で下まぶたをかるく押さえ、レンズが下がらないように固定してください。



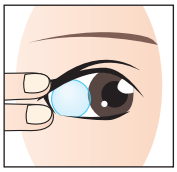
STEP 3 上まぶたの先端で、図のようにレンズのフチをひっかけてはずします。



注意 ●一度ではずれない時は、いったん指を離し、最初からやり直してください。

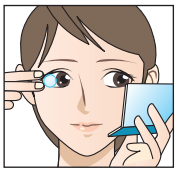
【レンズがずれた時の直し方】

レンズが耳側にずれた場合



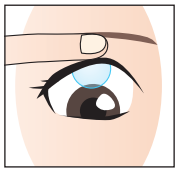
① 鏡を鼻側に持ち、顔を正面に向けたまま眼だけ鏡の方を見てください。

② 人さし指と中指で目尻を押さえ、レンズを固定してください。



③ 鏡をゆっくり正面へ動かしながら、レンズを角膜(くろめ)の上で押し戻してください。この時、眼は鏡を見続けるようにしてください。

レンズが上方にずれた場合

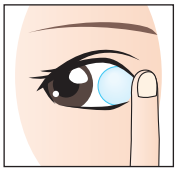


① 鏡を下方に持ち、顔を正面に向けたまま少しアゴを出した状態で眼だけ鏡の方を見てください。

② 人さし指で上まぶたのまつ毛の生え際をかるく持ち上げ、レンズの上方を固定してください。

③ 鏡をゆっくり上方へ動かしながら、レンズを角膜(くろめ)の上へ押し下げてください。

レンズが鼻側にずれた場合

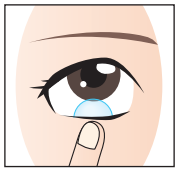


① 鏡を耳側に持ち、顔を正面に向けたまま眼だけ鏡の方を見てください。

② 人さし指で目頭を押さえ、レンズを固定してください。

③ 鏡をゆっくり正面へ動かしながら、レンズを角膜(くろめ)の上で押し戻してください。この時、眼は鏡を見続けるようにしてください。

レンズが下方にずれた場合



① 鏡を上方に持ち、顔を正面に向けたまま少しアゴを出した状態で眼だけ鏡の方を見てください。

② 人さし指で下まぶたのまつ毛の生え際をかるく押し下げ、レンズの下方を固定してください。

③ 鏡をゆっくり下方へ動かしながら、レンズを角膜(くろめ)の上へ押し上げてください。

危険
- 眼の中のずれたレンズに直接指をふれて直すことは絶対にしないでください。眼に傷やレンズにキズをつけるおそれや、レンズが破損することがあります。

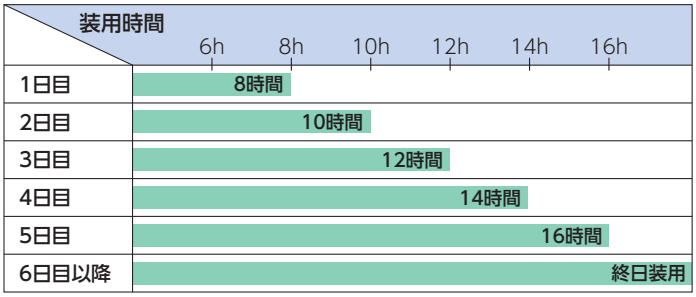
注意
- レンズを角膜(くろめ)に戻す途中でまばたきをしないでください。まばたきをすると、レンズがはずれることがあります。
- ずれたレンズが戻せない場合は、直ちに眼科医に相談してください。
- 眼の構造上、レンズが眼の裏側に入って取れなくなることはありません。落ちついてレンズの場所を確認してください。

装用スケジュール

【標準的な装用スケジュール】

装用可能な時間には個人差があります。個々のスケジュールについては眼科医の指示に従ってください。
はじめて装用する場合、初日から長時間の装用はできません。眼科医の指示に従って、最も適したスケジュールで徐々に慣らしてください。

危険
- 眠る時には、必ずレンズをはずしてください。



【装用を中止した場合】

何らかの事情により装用を中止した場合は、右記のスケジュールを参考にして装用を再開してください。
特に眼障害のために装用を中止した場合は、必ず眼科医の指示に従い再装用の許可が出てから装用してください。

注意
- 1ケ月以上装用を中断した場合は、装用する前に必ず眼科医による眼とレンズの再検査を受けてから装用を開始してください。

装用中止期間	減らす時間
一週間未満の中止	初日から終日装用が可能ですが、個人差があるため眼科医の指示を受けてください。
一週間以上の中止	眼科医の指示を受け、装用スケジュールに従い徐々に慣らしながら装用してください。

定期検査

調子よく装用していても、レンズにキズや汚れがついていたり、眼に合わなくなっていたり、また、気がつかないうちに眼に障害を起こして危険な状態になる場合もあります。定期検査は引き続きレンズを安全に使用できるかどうかを判断するため、ぜひ受けなければならない、非常に重要な眼とレンズの総合検査です。

装用開始 → 1週間後 → 1ケ月後

その後3ケ月に1回ずつ必ず定期検査を受けてください。

レンズケア

毎日のケアを怠ると、レンズに汚れが蓄積したりカビや細菌が繁殖し、レンズの劣化を早めたり、変形・変色の原因になり、
そのようなレンズを装用すると眼に障害を起こすことがあります。

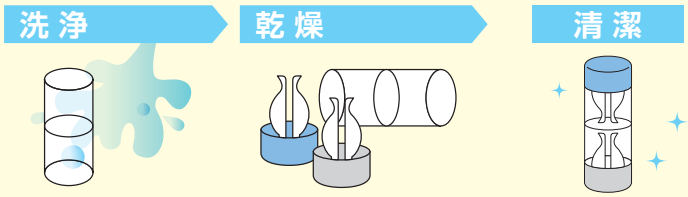
コンタクトレンズを快適に使用するために、必ず次の注意事項を守ってレンズケアを行ってください。
①ケア用品の正しい用法、用量を守り、レンズケアは必ず毎日行ってください。
②使用前には、各ケア用品の使用説明書（パッケージなどに表示されている指示事項や添付文書）を必ずよく読んでください。
③レンズに付着する汚れには個人差があります。レンズが汚れやすい場合には、眼科医の指示に従い、適切なレンズケアを行ってください。

【レンズの長期保存について】

●レンズ装用を長期間中止する場合は、レンズの保存方法について必ず眼科医に相談してください。
●なお、装用を再開する場合も、眼やレンズの状態を確認するため、必ず眼科医に相談してください。

●保存ケースの汚れにも注意

レンズをきれいにしても、保存ケースが汚れているとレンズも汚れてしまいます。保存液は毎日新しく交換し、その都度、レンズケースを洗浄・乾燥させましょう。また、レンズケースは定期的に新しいものと交換しましょう。

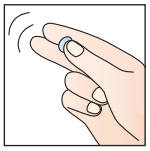


レンズを汚れから防ぐために

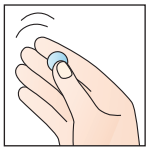
【正しいこすり洗いの方法】

洗浄方法には、「こすり洗い」と「つけおき洗い」がありますが、洗浄力に優るのは「こすり洗い」です。汚れがひどい時はレンズのこすり洗いを正しく行いましょう。

① 親指、人さし指、中指でレンズの外面（凸面）が下になるように持ちます。親指でレンズを人さし指と中指にこすりつけるようにして約30回しっかりと洗います。

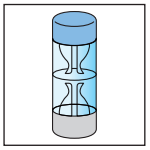


② レンズの内面（凹面）を洗うには、親指の腹で汚れをかきだすようにして洗います。



③ レンズを流水でよくすすいでください。

④ 新しい洗浄保存液を入れたレンズケースにレンズを保存します。



アドバイス
- 開封直後のレンズを装用した場合、涙がレンズの表面になじみにくく、くもることがあります。このような場合も、「洗浄・保存液」で特にレンズの外面（凸面）をこすり洗いすることにより、くもりを抑える効果が期待できます。
- くもりが生じた場合、研磨剤入り洗浄剤（アイミースーパークリーナーなど）で洗浄するととれることがあります。

【レンズを汚れから防ぐための注意】

① 点眼薬を使用する場合の注意事項

レンズ装用中は防腐剤の入っていない人工涙液以外の点眼はできるだけ避けてください。点眼薬の成分によっては、レンズに影響を及ぼす可能性があります。

② 化粧品や薬品などをレンズに付着させないでください

- 化粧品、薬品、粘着物が手指についた場合は、よく洗い落としてからレンズを取り扱ってください。
- お化粧はレンズを装用した後に行ってください。
- レンズをはずしてからお化粧を落としてください。

症状に関するお問合せ／レンズの装用にともなう眼の症状などについては、処方を受けた眼科・クリニックに相談してください。
製品に関するお問合せ／レンズの品質には万全を期しておりますが、万一レンズに破損やその他の不具合があった場合は、決して使用せずに下記フリーダイヤルまで相談してください。

アイミー株式会社 | ホームページアドレス http://www.aime.jp | アイミーコール（アイミーヨロシク） 0120-131469
受付：月～金（祝日を除く）9:00 ～ 17:00

AM14-09004